



system design forum

in AKIHABARA 2008

tokyo metropolitan university

システムデザインフォーラム in AKIHABARA 2008

平成 20 年 12 月 17 日 (水) 13:30-17:45
12 月 18 日 (木) 10:30-17:20

秋葉原ダイビル
コンベンションホール (2F)
公立大学法人首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス (12F)
入場無料

お申し込み・お問い合わせ先
191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
首都大学東京日野キャンパス管理部学務課教務係企画担当
tel:042-585-8613
fax:042-583-5119
e-mail:info-seeds-ml@ml.sd.tmu.ac.jp
<http://www.seeds.sd.tmu.ac.jp/>

今、首都大学東京では、産業界、東京都等とともに
東京都産業活性化に向けて産学公連携の推進に努めています。
システムデザイン学部では、「システムデザインフォーラム in 秋葉原」において、
学生及び教員の研究を紹介し、
産業界との直接の交流の場を提供いたします。
産学連携に少しでも興味をお持ちの方、本学部の新発明の種 (シーズ=研究) や
産業界を担う新しい人材の種 (シーズ=将来を担う若手研究者達) を
ご紹介するこの機会にぜひご参加ください。



会場：秋葉原ダイビル
千代田区外神田 1-18-13
秋葉原駅下車
JR 線 (電気街口) 徒歩 1 分
東京メトロ日比谷線 (2.3 番出口) 徒歩 4 分
つくばエクスプレス 徒歩 3 分
末広町駅下車
東京メトロ銀座線 (1.3 番出口) 徒歩 5 分

system design forum in AKIHABARA 2008
tokyo metropolitan university

首都大学東京
システムデザイン学部長
システムデザイン研究科長
川上 満幸

システムデザイン学部・研究科では、
システムの内部やシステムの環境を適正に機能させる情報、
そしてエネルギーの有効利用を総合的に設計する科学的方法を
研究教育しております。さらに人間の特性に配慮した
人間工学や生産システム設計、人間の感性に訴えるデザイン性、
人類の未来をになう次世代の航空宇宙技術についても、
重要な教育研究課題としており、学外からは山本寛斎先生、
榎文彦先生、(前)環境省地球環境審議官の小島敏郎先生をはじめ、
国内外で著名なご活躍をされている先生方を客員教授として10名招聘し、
学部・大学院の教育を行っております。

本学部はこういった観点から、1学部、1学科構想により、
従来の電気、機械工学等の自然科学の縦割りの、
つまり垂直方向に深く学問を追求するに併せて、横断的な発想である、
水平方向に展開することを意図して学科を

- (1) ヒューマンメカトロニクスシステム、(2) 情報通信システム工学、
- (3) 航空宇宙システム工学、(4) 経営システムデザインならびに
- (5) インダストリアルアートの5コースで構成しております。

本フォーラムは、本学部・研究科の教育研究活動の成果発表の一つとして、
産学公連携を視野に入れた位置づけにしています。

産業界をはじめ、多くの都民の皆様の忌憚のないご批判と
ご指導を賜れば幸甚に存じます。



将来を見すえた先行研究

多様な社会のニーズに対応する
基礎基盤技術の先行的研究・開発

若手研究者及びエンジニアの育成

将来有望な先進気鋭の研究者及び
エンジニアの育成

社会への還元

大学で得られた研究成果を社会へ還元
(産学公の連携促進)

アートとエンジニアリングの融合による デザイン・デベロップメント

デザイン開発製品や出版物を広報、
販売するコミュニケーション・ショップの設置

研究成果の開示

開かれた大学として、イベントを企画し、
社会に研究成果を開示

FORUM

システムデザインフォーラムのねらい

システムデザインフォーラムは、首都大学東京システムデザイン学部・システムデザイン研究科が
研究・開発した先行的研究成果を社会へ還元し、開示していくことをねらいとしています。
このフォーラムを通して社会の多様なニーズを把握して今後の先行的研究・開発に役立てるとともに、
将来有望な若手研究者・エンジニアを育成します。



program

平成20年12月17日(水) 13:30-17:45
12月18日(木) 10:30-17:20

17日
13:00- 受付開始
13:30-13:50 開会式(ホールA)
14:00-17:45 **オーガナイズドセッション**(ホールA・B)
14:00-15:45 : 生体計測技術の新展開と医療・福祉分野への応用(ホールA)
14:00-17:45 : 安心・安全のための情報通信技術(ホールB)
16:00-17:45 : 予測制御と適応制御の応用研究(ホールA)

18日
10:00- 受付開始
10:30-17:20 **ヤングリサーチャープレゼンテーション**(ホールC)
スチューデントプレゼンテーション(ホールD)
スチューデントポスターセッション(ホールE)
オーガナイズドセッション(ホールA・B)
10:30-12:30 : 自然現象やサイエンスに着想を得た先端技術研究の
: 新たなアプローチ(ホールA)
: 材料工学(ホールB)
13:30-15:15 : 環境・エネルギー・計測(ホールA)
: 環境・福祉・安全のための空間知(ホールB)
15:35-17:20 : 航空機・宇宙システム(ホールA)
: 境界・領域(ホールB)

展示企画

平成20年12月17日(水) 13:30-17:45
12月18日(木) 10:30-17:20

- I. ZMP社 x 首都大学東京の共同研究開発展示
- II. インダストリアルアートコース展示
 - a. Google EarthとSecond Lifeプロジェクトの上映
 - b. 「触れる」をテーマとしたモノ・空間
 - c. 次世代SUVの造形的提案
 - d. designersweek 出展作品



ヒューマンメカトロニクスシステム = HM (Human Mechatronics Systems)

情報通信システム工学 = IC (Information and Communications Systems Engineering)

航空宇宙システム工学 = AE (Aerospace Engineering)

経営システムデザイン = MS (Management Systems Engineering)

インダストリアルアート = IA (Industrial Art)

12月17日
オーガナイズドセッション
12/17

ホールA (2F)

ライフサイエンス分野

オーガナイザー: 松井 岳巳 教授 MS

「生体計測技術の新展開と医療・福祉分野への応用」

本セッションでは、生体計測技術に関する研究動向を紹介するとともに、生体計測技術を利用した医療・福祉分野への応用やその可能性を研究事例を元に議論する。セッション内では、まず、生体計測技術に関する特別講演を開催する。講師には長年、東京医科歯科大学教授、早稲田大学教授としてご活躍され、日本の医工学黎明期を牽引されてきた戸川達男先生を迎える。また、一般講演として下記の4人の講演者により、各専門分野から見た生体計測技術の応用に関する動向を紹介・解説する。

14:00 特別講演 戸川 達男 氏 本研科非常勤講師・元早稲田大学教授
14:40 一般講演1 青村 茂 教授 HM
14:55 一般講演2 関原 謙介 教授 HM
15:10 一般講演3 鈴木 哲 助教 MS
15:20 一般講演4 土井 幸輝 助教 MS
15:30 フリーディスカッション 司会: 松井 岳巳 教授 MS

ホールB (2F)

情報通信分野

オーガナイザー: 西谷 隆夫 教授 IC

「安心・安全のための情報通信技術—情報ネットワークと基盤」

9・11のテロ事件以来、巨大都市における「安心・安全」を実現できる技術の要望が渴望されている。このセッションではこの「安心・安全」をテロ攻撃だけでなく市民の日々の暮らしを快適に送るための諸技術として首都大学東京の研究活動を紹介するとともに、ゲストスピーカとして子供の相手役としてのロボットおよびドライブの安全安心をサポートするプロセサの講演をお願いしています。ふるってご参加ください。

14:00 藤田 善弘 氏 日本電気株式会社 C&Cイノベーション研究所 シニアマネージャー 特別講演「パーソナルロボット PaPeRo の研究開発・応用開拓活動」
14:25 阿保 真 教授 IC
「センサーネットワーク技術を利用した都市大気環境の3次元計測」
14:50 貴家 仁志 教授 IC / 西川 清史 准教授 IC / 藤吉 正明 助教 IC
「監視のための映像処理・伝送技術」
15:15 北川 智大 IC 前2 / 西谷 隆夫 教授 IC
「高原別荘でも地域災害関連情報を獲得できる衛星テレビ」
15:45~16:00 休憩
16:00 岡崎 信一郎 氏 日本電気株式会社 システムIPコア研究所 特別講演「画像認識プロセッサと安全運転支援への応用」
16:25 福本 聡 准教授 IC
「超高信頼VLSIへのアプローチ」
16:50 田川 憲男 教授 IC / 大久保 寛 助教 IC / 田邊 将之 IC 後2
「血管壁内高調波画像化を実現する超細径超音波プローブに関する基礎研究」
17:15 手塚 弘招 IC 前2 / 西谷 隆夫 教授 IC
「雨・雪に強い監視カメラ用動物体検出アルゴリズム」

ホールA (2F)

ものづくり技術分野

オーガナイザー: 森 泰親 教授 HM

「予測制御と適応制御の応用研究」

化学プラント、鉄鋼プロセス等の制御系設計について、実用的と評価されている最新の技術動向を紹介するとともに、理論と現場のギャップを埋める数々の有益な手法をまとめる。

16:00 増田 士朗 准教授 MS
「転炉排ガス回収設備制御における適応制御」
16:20 小島 広久 准教授 AE
「モデル予測制御による柔軟構造物の変形量制限マヌーバ」
16:40 児島 晃 教授 HM
「モード遷移を考慮した離散時間最適レギュレータの構成」
17:00 森 泰規 教授 HM
「化学プラントの非干渉化と予測制御系の構成」
17:20 野口 芳和 氏 日揮株式会社 エンジニアリング本部 ENテクノロジーセンター グループリーダー/小針 昌則 氏 日揮株式会社 エンジニアリング本部 ENテクノロジーセンター システムエンジニア
「パッチプロセス向け第一原理に基づくモデル予測制御の応用事例紹介」

12月18日
オーガナイズドセッション

ホール A(2F)

フロンティア分野

オーガナイザー：會田 雅樹 教授 MS
「自然現象やサイエンスに着想を得た先端技術研究の新たなアプローチ」
本セッションは、他分野との境界領域で生まれつつある新しいアプローチを含んだ研究テーマを集め、各技術分野で活躍する研究者の方から最新的话题を提供して頂く予定です。昨年は「広い意味でのネットワーク科学」をキーワードとして同様の企画を開催しましたが、今回は対象技術分野を広げており、幅広い分野の方との有益な情報交換、意見交換の場が提供できるよう目指しております。

10:30 開会挨拶 會田 雅樹 教授 MS
10:40 本間 裕大 助教 MS
「統計力学を援用した連鎖的移動モデルと社会システム分析への応用」
11:00 高野 知佐 氏 広島市立大学大学院 情報科学研究科 准教授
「近接作用の原理に基づく自律分散ネットワーク制御」
11:25 西内 信之 准教授 MS
「膨張アルゴリズムを用いた領域分割に関する研究—清掃ロボット・配送計画への応用—」
11:45 中村 元 氏 KDDI 研究所 ネットワーク設計グループ グループリーダー 「ユーザ行動に着目した通信ネットワークの設計」
12:10 會田 雅樹 教授 MS
「通信トラフィックデータに基づく社会ネットワーク構造の現象論的分析」

ホール B(2F)

ナノテクノロジー・材料分野

オーガナイザー：北園 幸一 准教授 AE
「材料工学」
航空機・ロケット等の大型輸送機器から微細な電子機器まで、高機能かつ高信頼性のものでごくりのためには、優れた材料が不可欠である。また近年、ナノマテリアルに代表される新素材が次々と開発されるなど、技術の進歩において材料の果たす役割は極めて大きい。そこで本セッションでは、システムデザイン学部及びその共同研究機関における最新の材料工学に関する研究成果を紹介する。

10:30 佐藤 英一 氏 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 教授
「ロケットを造る—軽くて強い材料とは—」
11:00 北園 幸一 准教授 AE
「超軽量ポーラスアルミニウム合金の開発」
11:30 日比谷 孟俊 氏 慶應義塾大学 教授
「今、始まった宇宙ステーション材料実験」
12:00 菅原 宏治 准教授 HM
「光通信用半導体微小高速変調デバイスに向けた基盤技術の開発」

ホール A(2F)

環境／エネルギー／ものづくり技術分野

オーガナイザー：武藤 信義 教授 HM
「環境・エネルギー・計測」
地球環境問題は世界規模での対応が迫られており、現在、その対応技術に関する研究が様々な視点から活発に行われている。本セッションでは、地球温暖化問題に関わる最近の研究成果を4件紹介する。まず、最初の2つは、我々の生活基盤を支えている自動車技術に関する内容で、今後の環境に配慮した自動車に適用する新燃料に関する研究及び次世代の環境対策車の切り札となりうる電気自動車 FRID EV に関する研究に関する講演である。次の2件は、大気中のCO2の濃度を計測する最新技術と様々な用途に適用できる可能性を秘めている超小型の燃焼器に関する技術である。環境問題に関心のある方なら興味を引く内容となっていますので、ふるってご参加ください。

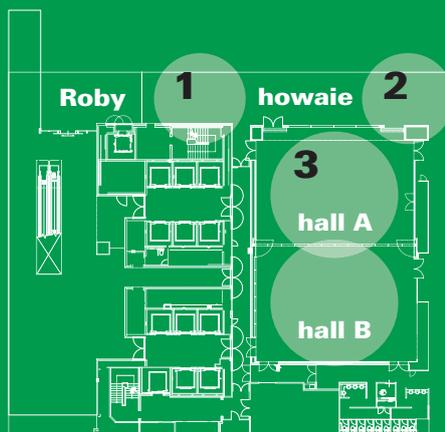
13:30 後藤 新一 氏 産業技術総合研究所 新燃料自動車技術研究センター長
「環境の視点から見た新燃料の自動車への展開と今後の技術展望」
14:00 武藤 信義 教授 HM
「次世代前後輪独立駆動型電気自動車 (FRID EV) の威力」
14:25 長澤 親生 教授 IC
「レーザを用いた大気中のCO2濃度分布測定法」
14:50 湯浅 三郎 教授 AE / 桜井 毅司 助教 AE
「UMGT用極超小型燃焼器の研究開発」

ホール B(2F)

環境／社会基盤分野

オーガナイザー：山口 亨 教授 IC / 和田 一義 准教授 HM
「環境・福祉・安全のための空間知」
空間知は、人、環境、およびシステム群（ロボット、センサ、機能デバイス等）の相互作用により構成される分散的情報構造化空間によって、人あるいはロボットなどの認知・行為主体の身体的能力、認知能力、および情報処理能力の拡張をもたらす。これにより、人間にシステムとの相互作用それ自体を強く意識させることなく、自然で一体感のあるプロセスの中で機能拡張が提供された結果として身体性の拡張が意識されるシステムを目指している。すなわち、空間知では、空間的広がりや機能的分散性、連携性を軸に、身体性の拘束から身体性の能動的選択、拡張を実現する「脳・身体性の拡張空間」の生成と機能実現のためのシステム構成論の体系化を目指す。空間知の社会環境への適用により、様々なハンディキャップをもつ個々の人間に適合した支援が可能となり、個としての主体性と尊厳が維持された生活空間および生産的かつ低費型社会の実現に貢献する。

13:30 山口 亨 教授 IC
「環境・福祉・安全のための空間知—ロボット知能化のための新しい形—」
13:35 水川 真 氏 芝浦工業大学工学部 教授
「人工物への機能外化による、人間の機能拡張としての空間知」
13:50 安藤 慶昭 氏 産業技術総合研究所 知能システム研究部門
「ロボットソフトウェアプラットフォーム OpenRTP—RTミドルウェア技術の展開と今後の展望—」
14:05 和田 一義 准教授 HM
「空間知能化のための軽量版 RT コンポーネント」
14:10 難波 広樹 IC 前2 / 高岡 康史 准教授 IC / 山口 亨 教授 IC
「RTミドルウェアを用いたTV番組情報提示システムの構築」
14:20 空原 信一 教授 IA
「間接光を考慮した写実的空間シミュレーションの高速処理アルゴリズムの開発」
14:30 渡邊 英徳 准教授 IA
「汎用 3D GIS・3D インターネットプラットフォームを用いた環境保護 NPO の活動支援・都市建築アーカイブの構築」



2F

1. 受付
2. 2F ホワイエ 展示企画
 - I. ZMP 社 x 首都大学東京の共同研究開発展示
 - II. インダストリアルアートコース展示
 - a. Google Earth と Second Life プロジェクトの上映
 - b. 「触れる」をテーマとしたモノ・空間
 - c. 次世代 SUV の造形的提案
 - d. designersweek 出展作品
- (懇親会 12/18 17:40-18:40 有料)
3. ホール A,B
オーガナイズドセッション

14:40~14:45 休憩

14:45 パネルディスカッション(30分) パネリスト:山口・水川・安藤・和田・高間・笠原・渡邊

ホール A(2F)

ものづくり技術分野

オーガナイザー: 金崎 雅博 准教授 AE / 佐原 宏典 准教授 AE

「航空機・宇宙システム」

航空機システムに関しては、計算機援用工学を用いて設計空間を大域的に探索し、設計情報を抽出する手法と、航空機設計問題に適用した事例を紹介する。また、近年、騒音の低減は市場に新規の機体を投入する上で重要な設計要素となっており、機体騒音の予測や低減化手法について、最新の研究の発表を行う。宇宙システムに関しては、楕円軌道上を回るエレクトロダイナミックテザーシステムの安定化手法と、オープン・モジュラー型アーキテクチャに基づく超小型衛星の低価格・短期間開発の可能性について発表する。

15:35 金崎 雅博 准教授 AE

「航空機をはじめとする流体機械の最適設計」

15:55 今村 太郎 宇宙航空研究開発機構航空プログラムグループ 国産旅客機チーム 「民間航空機開発における低騒音化の研究」

16:15 浅井 雅人 教授 AE

「スラット後縁での渦放出と空力音発生」

16:35 佐原 宏典 准教授 AE

「超小型衛星のオープン・モジュラー化を目指して」

16:55 小島 広久 准教授 AE

「遅延フィードバックによるエレクトロダイナミックテザーシステムの周期運動安定化」

ホール B(2F)

ものづくり技術 / 社会基盤分野

オーガナイザー: 久保田 直行 准教授 HM

「境界領域」

近年、ニーズの多様化やニーズの変化に迅速に追従するために付加価値の高い商品化が強く要求される。これは、単に優れた技術を提供するというだけでなく、高いレベルで優れた技術を理論的に統合・融合し、洗練されたシステムを効率よくデザインすることが必要になる。本セッションでは、しなやかに動くためのロボット技術や重力に逆らい浮遊するための磁場効果などの優れた技術、さらには、サービスの設計効率を向上させる TRIZ や製造業における中高年齢者の技術を活用するための都市型モデルなどの洗練された全体システムのデザインに関する研究の発表が行われる。

15:35 下村 芳樹 教授 HM

「サービス設計効率向上のためのサービス TRIZ の開発」

16:00 武居 直行 准教授 HM

「柔らかいヒレで泳ぐ魚ロボット」

16:25 田川 俊夫 准教授 AE

「水や空気の流れに及ぼす磁場効果」

16:50 梶原 康博 教授 MS / 滝 聖子 助教 MS

「製造業における中高年齢技術者・技能者の都市型活用モデルに関する研究」

12月18日

ヤングリサーチャープレゼンテーション

ホール C(12F)

10:30 大久保 寛 IC 助教 **情報通信分野**

「時間領域数値シミュレーションを用いた波動伝搬現象の可視化に関する研究」

10:55 下川原 英理 IC 助教 **情報通信分野**

「ジェスチャー認識と音声認識によるマルチモーダルインタラクションの開発」

11:20 柴田 泰邦 IC 助教 **情報通信分野**

「3次元風向風速分布測定のための可搬型ドップラーライダー」

11:45 藤吉 正明 IC 助教 **情報通信分野**

「ブロックベース圧縮画像群からのぼけ画像検出」

12:10 藤田 八郎 IC 助教 **情報通信分野**

「誤り訂正符号の暗号技術への応用: 秘密分散と量子暗号」

12:35~13:30 休憩

13:30 桜井 毅司 AE 助教 **エネルギー分野**

「UMGT用超小型実機型燃焼器の熱・燃焼特性」

13:55 小澤 俊平 AE 助教 **ナノテクノロジー・材料分野**

「無容器浮遊プロセスを利用した高温融体の高精度熱物性測定」

14:20 青柳 潤一郎 AE 助教 **ものづくり技術分野**

「小型衛星搭載用微小推力パルスプラズマ推進機の研究」

14:45 岩本 宏之 AE 助教 **ものづくり技術分野**

「波動制御理論による閉空間場の静電化制御に関する研究」

15:10~15:35 休憩

15:35 千葉 龍介 HM 助教 **社会基盤分野**

「AGV 搬送システムの共進化を用いた設計における環境の困難さと収束性に関する研究」

16:00 金子 新 HM 助教 **ナノテクノロジー・材料分野**

「自己整列マイクロ/ナノ粒子による大面積微細構造と機能表面への応用」

16:25 山中 仁寛 MS 助教 **ライフサイエンス分野**

「自動車運転作業者の有効視野計測法の開発—自由視における有効視野計測を目指して—」

16:50 土井 幸輝 MS 助教 **ライフサイエンス分野**

「アクセシブル・デザインを実現する紫外線硬化樹脂を用いた点字・触知案内図の印刷特性と触読性評価」

12月18日

スチューデントプレゼンテーション

ホール D(12F)

社会基盤分野

10:30 奈良 紘太 HM 前2

「群集挙動のモデリング—交差現象の解析」

10:50 大下 祐輝 MS 前1

「クロズド・ループ・サプライ・チェーンに関する研究—カスケード・リユースにおける最適発注方策—」

ライフサイエンス分野

11:10 田邊 将之 IC 後2

「血管内超音波画像化のための超小型超音波モータに関する研究」

11:30 藪 謙一郎 HM 後3

「自然な発話を目指した音声発話装置に関する研究」

11:50 中西 由佳 MS 前2

「若年者と高齢者の視覚情報処理機能の違い」

12:10 山岸 未季 MS 前2

「動的特徴量情報を付加した静脈認証システムの研究」

12:30~13:30 休憩

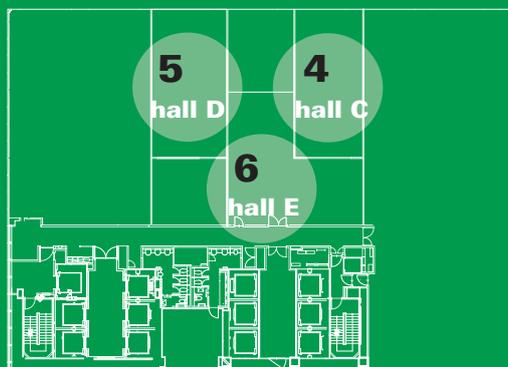
ものづくり技術分野

13:30 加藤 紘史 HM 前1

「サービスデリバリープロセスにおけるサービス活動・製品挙動の統一表現手法」

13:50 熊谷 慎一郎 HM 前2

「能動視覚を用いた物体探索ロボットの開発」



4. ホール C

ヤングリサーチャープレゼンテーション

5. ホール D

スチューデントプレゼンテーション

6. ホール E

スチューデントポスターセッション

14:10 諸星 圭祐 AE 前2
「静磁場印加環境下における電磁浮遊液滴の振動挙動」
14:30 榎本 拓郎 AE 前2
「体積力を用いたマランゴニ対流の数値解析」
14:50 田中 隆太 AE 前2
「密閉容器内の電磁流体の自然対流解析」

15:10~15:35 休憩

情報通信分野

15:35 梶並 知記 IC 後3
「キーワードマップ上での『気づき』支援」
15:55 小瀧 慶介 IC 前2
「グラフ型情報可視化における構造縮約手法」
16:15 榎原 崇 IC 前2
「動向情報と評判情報を利用したオンラインニュースフィルタリング」
16:35 上嶋 聖人 MS 前2
「コンピュータウィルスの感染特性を利用したユーザ間通信頻度モデルの提案」
16:55 関戸 健治 AE 前1
「ポーラス Zn-22Al 超塑性合金の機械的性質」

12月18日

学生ポスターセッション

ホールE(12F)

コアタイム 12:30~13:00

ライフサイエンス分野

中村 龍一 HM 前1
「脊髄誘発磁場からの信号源分布再構成に用いる空間フィルタの最適化」
藤井 奨 HM 前1
「正中神経刺激による脊髄誘発磁場からの信号源分布の再構成と可視化」
長谷川 智香 IC 前2
「マイクロ波レーダーによる物体内部の可視化に関する研究」
システム基礎工学（工学研究科）後3 藤本 泰成
「カオス理論を適用した脈波によるストレス判定」
眞野 祥典 MS 前2
「高齢者の転倒防止に関する研究」
中野 智之 MS 前1
「発音時における口唇動作の特徴点設定に関する研究」

情報通信分野

高橋 清考 HM 前2
「Web 情報を用いた設計知識データベースの拡充手法」
橋本 顕嗣 MS 前2
「社会ネットワークモデル上でのイジングモデルの特性分析」
石井 良幸 MS 前1
「再試行トラヒックが異なるサービス時間を持つ場合の準静的アプローチ適用可能性の研究」
岩崎 和 MS 前1
「拡散型フロー制御の実装技術の検討」
平野 達矩 MS 前1
「社会ネットワークモデルに基づくマーケティング戦略」

環境分野

齊藤 律仁 HM 前1
「新しい環境対策車の実現に向けて繰り広げる実用 FRID-EV s の成果」

ナノテクノロジー・材料分野

川崎 裕介 HM 前1
「超音波およびスプレー法による薄膜作製」

駒津 奨 AE 前1
「マグネシウムの機械的特性に及ぼす Ti-6Al-4V 粒子添加の影響」
木矢村 豊 AE 学4
「微小重力環境を利用した高温融体の高精度表面張力測定」

エネルギー分野

窪田 和人 HM 前2
「再生可能な複合形新エネルギー創成システムに関する研究」

コアタイム 15:15~15:35

ものづくり技術分野

TO HOANG QUAN HM 前2
「H2 予見出力フィードバック則の構成」
小林 隼人 HM 前2
「自己組織化プロセスを利用した反射防止表面の作製」
杉山 明紀 HM 前2
「創作的設計支援のための知識表現形式—表層格と物理量情報に基づくタグ付け手法—」
谷山 直人 HM 前2
「張力・ルーバ系の起動制御：モデル予測制御によるアプローチ」
土屋 太郎 HM 前2
「むだ時間系に対する新たな安定解析の提案」
藤倉 央樹 HM 前2
「聴覚情報に基づく飛行船の自動制御」
星野 良太 HM 前2
「連続時間型セルフチューニングコントロール」
細川 孝之 HM 前2
「予見スライディングモード制御を用いたスピーカーの広帯域制振設計」
檜皮 えりこ HM 前1
「距離画像センサを用いた物体把持のための知的制御」
山岸 真之 HM 前1
「非金銭的コスト概念に基づくサービス設計戦略の提案」
齊藤 大輔 AE 前1
「回転二重円筒容器内の熱対流の数値解析」
服部 舞 MS 前2
「対話型遺伝的アルゴリズムを利用したリアルタイム試用システムの開発」

社会基盤分野

幸加木 徹 HM 前1
「MLD システム表現を用いた群集挙動のモデル化—障害物の配置と退出時間に関する考察—」
佐郷 慶宜 MS 前2
「膨張処理アルゴリズムを用いた配送分担計画に関する研究」
杉崎 翔大 MS 前1
「コスト最小リバランスを用いたインデックスファンドの最適化」

・発表内容は変更になる場合があります。
・発表時間は前後することがあります。あらかじめご了承ください。



主催

首都大学東京システムデザイン学部
首都大学東京大学院システムデザイン研究科
東京都立科学技術大学
公立大学法人首都大学東京産学連携センター

後援

東京都
東京商工会議所
東京都商工会連合会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
財団法人東京都中小企業振興公社

協賛

アキバテッククラブ

組織委員

首都大学東京システムデザイン学部
科学技術交流推進室
室長 武藤 信義
委員 久保田 直行
山口 亨
田川 俊夫
會田 雅樹
鈴木 敏彦
事務局 高野 千恵子
堀込 百合子